

新型コロナウイルス感染症に関する 北海道におけるレベル分類 (概要)

目的

- ワクチン接種等が進む中、医療ひっ迫が生じない水準に感染を抑え、日常生活や社会経済活動の回復を促進する
- 新規感染者数等を注視しつつ、医療のひっ迫に重点を置き、感染状況の分析や評価を行った上で、対策を講じる

各レベルの位置付け

レベル0	(感染者ゼロレベル)新規感染者数ゼロを維持できている
レベル1	(維持すべきレベル)一般医療が安定的に確保され、新型コロナウイルスに対応できている
レベル2	(警戒を強化すべきレベル)新規感染者の増加が見られ、医療の負荷が生じはじめている
レベル3	(対策を強化すべきレベル)一般医療を相当程度制限しなければならない
レベル4	(避けたいレベル)一般医療を大きく制限しても新型コロナウイルスに対応できない

地域を対象とした運用

- レベル運用は、原則、全道域としつつ、札幌市を対象とした運用を行う。札幌市内の対策は、札幌市への通勤や通学による感染の広がりなども考慮し、周辺市町村を対象とすることも検討
- 地域の感染状況等をモニタリングし、感染の広がり等を考慮の上、地域を限定した対策を検討

移行指標及び対応の目安

レベル	移行指標	対応の目安
0	一定期間(2週間程度)新規感染者数ゼロの日が継続	○基本的な感染防止行動の実践の促進
1	新規感染者が散発的に発生	○特に感染リスクが高まる場面や行動に留意した基本的な感染防止行動の実践を働きかけ
2	①「病床(又は重症病床)使用率」が20%を超える ②「新規感染者数」が10万人あたり15人/週を超える ③「療養者数」が10万人あたり20人を超える ①～③の全てを満たす	○感染リスクが高まる場面や行動の回避を要請等 ○一定期間(2週間程度)感染の拡大が継続する場合には、さらなる制限を伴う要請を行うとともに、まん延防止等重点措置の国への要請を検討 ○さらに、感染の拡大が継続する場合には、レベル3への移行も見据え、緊急事態措置の実施について国と協議
3	「病床(又は重症病床)使用率」が50%を超える	○緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の下で、強い制限を伴う要請
4	「病床使用率」が100%を超えるおそれがある	○さらなる強い制限を伴う要請 (例)外出自粛、飲食店の休業、施設の使用停止、イベントの中止、公共交通機関のダイヤの大幅見直し、職場の出勤者数の大幅削減 等

◆移行の判断に当たっては、将来の病床数を予測するツールに加え、感染経路不明割合や陽性率など様々な指標をモニタリングし、感染状況等の分析や評価を行う。

◆変異株の影響により感染拡大が急速に進む場合など、必要に応じ、レベルの移行や対策を前倒しする。